

「さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験」
の状況、これからの見通しについて

都市局 都市計画部 自転車まちづくり推進課

1. 事業の背景

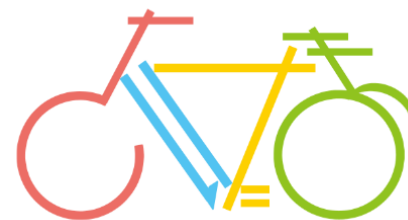
さいたま自転車まちづくりプラン
～さいたまはーと～（平成28年3月策定）

たのしむ

まもる

はしる

とめる



さい …サイクル

た ……たのしむ

ま ……まもる

はー …はしる

と ……とめる

- ・ 短距離移動の利便性
- ・ 都市の回遊性

コミュニティサイクル事業の推進

- ・ コミュニティサイクルの利用促進
及びエリア拡大
- ・ コミュニティサイクルの車両多様化

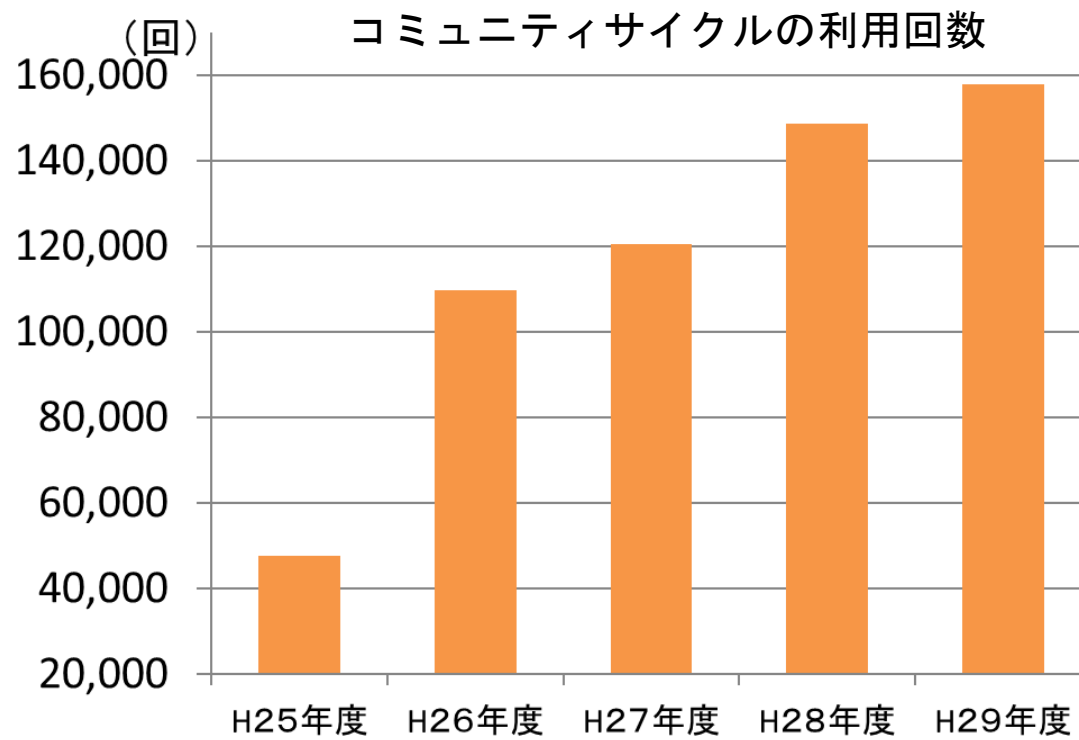


与野本町駅サイクルポート

1. 事業の背景

さいたま市コミュニティサイクルの現状と課題

- 大宮駅を中心とした半径約3km圏内にて、平成25年5月に事業開始。
- 公設民営方式にて、サイクルポート24箇所、自転車400台で運営中。
- 利用は年々増加傾向にあるものの、サイクルポート用機器が非常に高価なため、簡易にポートを増やすことができず、ポート数が大きく不足。



1. 事業の背景

民間シェアサイクルの台頭

- 昨年夏ごろより、全国的に複数の民間事業者間で、シェアサイクルを事業として成り立たせ、持続可能な形で運営していこうとする取り組みが活発化。
- さいたま市内でも、昨年11月から12月にかけて、コンビニエンスストアなどに100箇所以上のシェアサイクルポートが設置された。

シェアサイクルの利用促進・エリア拡大
のため民間事業者との連携が必要



さいたま市
シェアサイクル普及事業実証実験
【平成30年11月～平成33年3月】



2. さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験の概要

実験の目的

- 新たな都市の交通システムとしてのシェアサイクルの普及を、民間事業者と連携して実施することの有効性及び課題を検証する。

実験の概要

- 本市全域を対象に、公共用地を活用しシェアサイクルポートを設置。
- 民間事業者と連携してシェアサイクルポートの密度を高め、利用状況の分析、事業の効果や採算性の検証、本格導入に向けた課題の整理を行う。

<民間事業者の公募実施>

○ 公募期間 平成30年8月6日（月）～24日（金）

【事業者決定】 OpenStreet 株式会社

3. シェアサイクル（OpenStreet(株)）の特徴

- 電動アシスト自転車にスマートロックが取り付けられており、料金精算機などの機器を必要とすることなく、自転車単体で貸出・返却及び料金決済の機能を有する。



スマートロック

ディスプレイ

3. シェアサイクル（OpenStreet(株)）の特徴

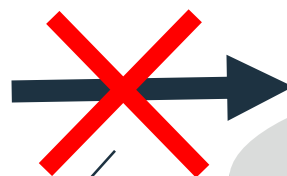
ジオフェンスによる駐車管理

【ジオフェンス管理とは】

○一時駐輪は可能

×ポート以外返却は不可

※ポート以外駐輪に課金することで、違法駐輪を抑止
※付近の交通を妨げるリスクも抑制



サイクルポート



緯度・経度



Beacon

【リアルタイム駐輪管理とは】

駐輪可能台数をシステム設定

満車の場合 返却不可

※駐輪エリアに制限数以上の自転車が返却されないため
再配置の無駄をなくす効果も有る

4. 実証実験スケジュール

実証実験期間（公共用地無償貸付期間：～H33年(2021) 3月）

ポート用地確保

今年度

- ポート用地の選定
- サイクルラックの設置
(順次利用開始)

データ収集

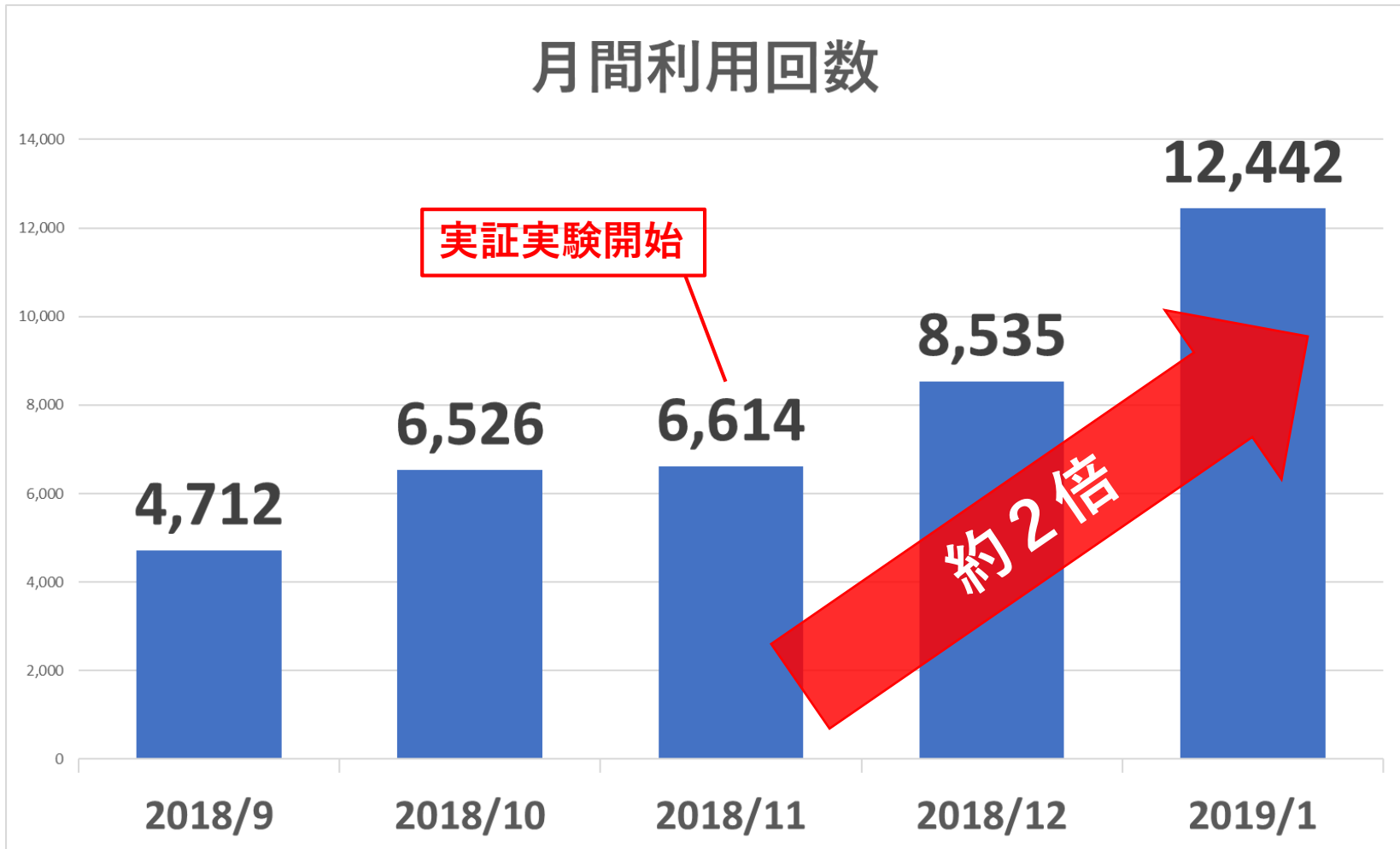
H31年度 (2019)

- 実証実験データ収集・分析評価
 - ・シェアサイクル普及の効果及び採算性
 - ・持続可能性の検証
- シェアサイクル移動データの利活用

データ分析・評価

H32年度 (2020)

5. 実証実験の現在の状況



- ✓ 実証実験開始後、利用急増
- ✓ 駅前を含む公共用地内に20箇所ポート整備

サイクルポート設置済公共施設

本庁舎
西区役所
中央区役所
緑区役所
プラザイースト
プラザウエスト
プラザノース
市営高砂第2自転車駐車場
浦和駅西口再開発事業用地内(2箇所)
与野駅西口土地区画整理事業地内
さいたま新都心駅西口交通広場敷地内
等、全20箇所に設置 (H31.2末)

6. 実証実験の今後の予定・テーマについて

公園等を活用した高密度配置

- 公園や道路等を活用し、一定の範囲（500mメッシュ、都心部は250m）にサイクルポートがあまねく整備されている状態を目指す。不足地域は民間企業にも設置を働きかける。



6. 実証実験の今後の予定・テーマについて

シェアサイクル&バスライド

- バス路線の分岐点となっている箇所や終点部等、需要があると思われるバス停の近隣にシェアサイクルポートを設置し、シェアサイクルと路線バスとの連携の有効性や課題について検証する。

ヤフー、埼玉大学と連携した効果検証

- ヤフー（OpenStreetの親会社）が展開しているデータフォレスト構想と連携し、Yahoo!Japanの持つビッグデータ、シェアサイクル利用データ、アンケート調査データ等を組み合わせた分析を行う。
- 単なる利用状況だけでなく、どのような属性の人間が、どのようなシーンで、どういったメリットを感じてシェアサイクルを使っているのか等、シェアサイクルが都市にもたらす効果をより詳細に検証していく（詳細調整中）。

